

# Sumida Cuir CO.,LTD 株式会社 墨田キール

- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

若手クリエイターたちの可能性を引き出し、共に伴走するパートナーとして



**クリエイターたちへの多角的なアドバイス**  
墨田キールの工房内には、革に貼るフィルムや箔を巻いた筒の束が、所狭しと並んでいます。革の下地×フィルム×箔の組み合わせで、無限の可能性が広がる加工の世界。自分ならではの素材を求める人にとっては、唯一無二の一枚が生まれる工房と言えます。  
社長長谷川憲司さんは、若手クリエイターたちの作りたいものやビジョンを細かくヒアリングして、「それならもっとこうした方が…」とか「こんな加工は？」といった多角的なアドバイスをしています。  
試行錯誤しつつブランドに合った革の開発を通して、日本国内のみならず、世界へと羽ばたいたクリエイター達も少なくありません。現在墨田キールの工房には、ビッグスキンの良さを活かした革小物ブランドを立ち上げた若者が、技術向上のために通っているとのこと。

**東京産の豚革を「プレミアムレザー」に**  
噂を聞きつけて、エンタメ界のスタイリスト達も駆け込みます。ミュージシャンのステージ小道具や、TVC M撮影の小道具、ミュージカルの特殊なコスチュームなど、他では難く投げてしまうような案件も墨田キールでは数多くこなしてきました。  
「世界には、牛の革や羊の革はたくさんあります。けれど、豚の革というのは実は珍しい存在。海外では肉と一緒に皮も食べてしまう日本の原皮は、とても希少性があります。けれど、原皮の9割はそのまま海外へ輸出されてしまうので、この東京産の豚革を「プレミアムレザー」として、もっとブランドインクしていきたいと思っています」と長谷川社長は熱く語ります。  
今年度は「全日本ビッグスキタンナーズ工業組合」の理事長を務めており、改めて東京産ビッグスキンの認知度をアップを図りたい、と長谷川さんは意気込んでいます。



株式会社 墨田キール

〒131-0041 東京都墨田区八広 4-9-2  
電話 : 03-3617-8551  
FAX : 03-3617-8553  
メール : info@sumidacuir.co.jp  
HP : https://sumidacuir.co.jp/

代表取締役 長谷川 憲司



HP

# Sumida Kawasuki CO.,LTD 墨田革漉工業株式会社

- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

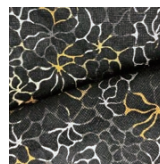
レザーの既成概念を打破！  
シーズンレス革製品をヒットに導く技術力



**丸だけじゃない!? パンチング**  
「パンチング」という、連続性のある丸い穴が空いた加工、素材、というイメージがあります。文字通り、パンチする加工なので、丸だけに限らず、型を替えれば、メッシュのような仕上がりのものでできますよ」と教えてくれたのは、墨田革漉工業会長、佐藤元治さん。  
そんなパンチング加工を施したレザーでストールを制作。某クリエイターズブランドでロングヒットとなっていました。数えきれないほどのサンプル素材から選び出した型をアレンジし新しいアイテムが生まれました。  
三つの毛穴があるビッグスキンは通気性が高いといわれていますが、このストールは放湿性にも優れているので夏でも快適に使えるのがうれしいですね。表面と裏面で色柄を変えられるので、パンチングの型との組合せによって可能性は無限大。つくり手の個性を表現することも可能です。

**膨大なアーカイブと豊富な経験・社外メンターのファクトリー**  
本社向かいの建物の2階はかつて社員寮だったようですが、現在は膨大な量のアーカイブが所狭しと並ぶショールームに。  
ブリーツ、箔、エンボス(型押し)、フィルムなどのほか、同社しかできない技術といわれるのがデジタルカッティング。革の表面にナイフで切れ目を入れることで、ファーのような独自の起毛感を実現。ナイフを入れる間隔に変化させ、多彩なニュアンスに。アニマルウエルフェア(動物愛護)の観点からフェイクファーが注目されるなか、食肉の副産物である皮革をベースにしたナチュラルな質感が、これまでにないクリエイティブのヒントとなりそう。  
東京コレクション参加メンバーや多くのクリエイターブランドなどを支えてきた熟練の職人技との確かなアドバイスが好評。困ったときに訪れたい社外メンターのようなファクトリーです。

## reccomend



**SK30280/654**  
ゴールドとシルバーの箔を散りばめ、美しい和風柄をイメージしました。印象的な花柄にテクチャーを加え、まるで着物のような高級感あるデザインに仕上げました。



**SK30302/676**  
春雨の中に咲き誇る紫陽花をイメージしました。カラフルに咲き誇る花々を柔らかな色彩で鮮やかに表現。

## 墨田革漉工業株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広4-43-4  
電話 : 03-3613-2131  
FAX : 03-3619-5380  
メール : skltd@nifty.com  
HP : http://www.sumidakawasuki.com/  
WEBショップ : http://kawasuki.thebase.in/

取締役顧問 佐藤 功 代表取締役会長 佐藤元治  
代表取締役社長 佐藤 藤二



代表取締役会長 佐藤 元治



HP

- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

最新技術×クリエイティブ  
つくりたい人の「自分らしさ」を叶える



**レザーウエアのセミオーダーという挑戦**

まだ新しい工場の4階に足を踏み入ると、窓一面に広がる雄大な荒川の風景が迎える。壁にはレザージャケットが並び圧倒される。ここは同社の新たな挑戦を象徴する空間だ。ショールームを錦糸町からあえて東墨田の工場に移し、革の製造工程を見学した上で最終製品に触れるという体験型の販売モデルを確立。時代を超えて愛されるミリタリージャケットやGジャンなど5つのデザインを基に、常時200色以上を誇るカラーチップから自分だけの一着を仕立てる喜びは格別だ。代表の渡邊守夫氏は「工場を革を作る作業を見て実際に革の手触りを味わうと、ジャケットを衝動買いしたくなるんじゃないかね」と語る。これは製品の背景にある物語、つまり職人の手仕事に触れることが、いかに顧客の心を動かすかを示している。

**積極的に工場見学を受け入れる**

革が好きなら増やしたい」という情熱から、工場見学を積極的に受け入れ、地域のオーブンファクトリー「スミファ」にも積極的に参加することで、革の文化を育むコミュニティ作りにも貢献している。工場も働く娘の香織さんによる革小物の卓越した技術力は、国内最高峰のコンテスト「ジャパンレザーアワード」で、スタジアムジャケットとスニーカーがウエアー&グッズ部門がチャーデザイン賞、A2ジャケットがベストプロダクトを受賞したことで公式に証明された。歴史と革新が交差する荒川のほとりで、ティームワイズは革の新たな物語を紡ぎ続けている。



代表取締役 渡邊 守夫

有限会社 ティー・エム・ワイズ(T.M.Y's)

〒131-0042  
東京都墨田区東墨田 3-14-21  
電話 : 03-5630-8189  
FAX : 03-3612-5111  
メール : tmy\_s3@yahoo.co.jp  
HP : https://www.leatherlabtokyo.com/

営業 加藤 友樹  
代表取締役 渡邊 守夫



HP

- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

タンナーとブランドをつなぐ、  
新たな橋渡しに



**ビッグスキンと奄美の泥染めとの出会い**

惜しまれつつ創業70年の工場を閉業した三恵産業で作られたビッグスキンは、3代目の阪本美和さんに引き継がれています。現在はビッグスキン以外にも牛・羊・馬・エキゾチックレザーなども扱う皮革の総合商社として、オリジナルの撥水スエードや新しく開発した皮革を様々なメゾンへ提供しています。

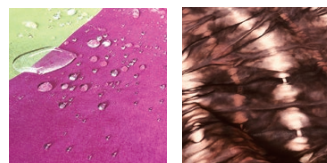
最近力を入れているのが、ビッグスキンのヌメ下地で染める「奄美の泥染め」。自然界から生まれた深く奥行きのある黒と茶褐色の色合い。そしてひとつずつ手作業で紡ぎ出される、絞り染め模様が目を惹きます。1300年の歴史を誇る伝統の「奄美の泥染め」は、島に自生する車輪梅(しゃりんばい)という木の煮汁と土地の泥田につけ込みながら染め上げられ、化学染料では出せない自然の色合いが魅力。この木の天然タンニン成分と、きめが細かく鉄分の多い奄美の泥と化学反応をすることでこの独特な色合いが生まれます。

**サステナビリティな革を世界へ**

泥染めは以前、当社の豚ヌメ革の傷を生かせる方法を悩んでいた頃、奄美の職人から「豚革を使いたい」という依頼がありました。最初は綺麗に染まらず苦労しましたが、鞣す工程で使うタンニンの原料を変えたり奄美で染めた革を東京に戻して仕上げ方を工夫したり、数年かけて泥染めの開発しました。豚革の傷や毛穴が目立たなくなりました。私自身が現地へ出て自ら泥染めを経験することで、島の皆さんの泥染めに対するひたむきさや、温かなお人柄があっという間に魅入られました。自然の材料で染めるので、川で洗っても環境に荷がかりません。東京産の豚革と奄美の日本古来の技法がコラボできたことが嬉しいですね。この文化や伝統を残すためにも、環境にも優しい素材としてもっと世界へ広めたいです」

今までの工場での経験に加え、同業の方々へのものづくりにサポートや、タンナーとブランドとの橋渡し役として素材を開発する新たな仕事に期待が集まっています。

reccomend



**ウォッシュブル&撥水スエード**  
ウオッシュブルスエードは、水に強く、汚れたら洗える2つの機能を備えたスエードです。

**奄美大島の泥染めレザー**  
奄美で染める伝統的な染色技法。化学染料では表現できない茶褐色の深い色合いは使い込むほどに変化します。

三恵産業株式会社

〒1130-0002  
東京都 墨田区業平4-4-12-701  
電話 : 03 6820 6570  
FAX : 03 6820 6570  
メール : ishida@sankei-sangyou.co.jp

代表取締役 阪本 美和



代表取締役 阪本 美和



Web Shop



- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

シャーク・スキンを扱う  
タンナーです



有限会社 日下部工業所



代表取締役  
日下部 剛

〒329-4401  
栃木県栃木市大平町牛久659  
電話 : 0282-22-2354  
FAX : 0282-25-6354

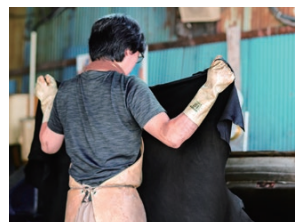
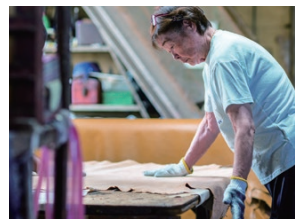


地図

代表取締役 日下部 剛

- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

日本エコレザー認定基準をクリアする素材づくり。  
清掃や安全管理も徹底



reccomend



シャーク・ブラック  
使い込むほどに艶が出ます。  
高級感ある光沢



シャーク・モトーン  
表面の凹凸のシボ感を  
生かした濃淡が美しい

**ノンクロム・ノンホルマリンの素材開発**  
原皮の仕入れに始まり、皮のなめしから染色、仕上げまで、一貫した生産が強みである福島化学工業。人と環境に配慮した真っ白なレザー「オルガノホワイト」をはじめ、ライニング等に使用されるオルジナルの7種の素材が、ノンクロム・ノンホルマリンの「日本エコレザー」の認定基準をクリアしています。  
特に「オルガノホワイト」は、インクジェットプリント用の下地として使われることが多く、バステルカラーを染色する場合は色にじみもなく、きれいに表現できる点がクリエーターに支持されています。傷や肌荒れが少ない原皮を選り分けるので全体のうち一割程度しか取れない希少な素材です。  
**工場内のクリーンな環境作り**  
すぐ隣の工場では、四代目の泉正子さんを中心に、改めて清掃や安全管理などを見直し、クリーンな環境作りが行われています。使

■ オルガノIIの特徴 ■

日本エコレザー基準認定革  
新 No.210003 旧 No.150060

1. 六価クロム及び三価クロムの使用はしていませんので検出されません。
2. 焼却してもダイオキシン等の有害物質が発生しません。
3. ホルマリンも検出されません。
4. 白色で使用する場合は、無黄変です。
5. 染色性も良いです。下地が白いで特にバステルカラーが綺麗に表現できます。
6. 人体に無害です。

ラムは、近年代替品も少ないため、今の段階からしっかりと修理して、今後も長く使えるように整えているとのこと。  
「特に原皮選びから鞣すまでの工程は、界限でも行える企業が少なくなってきたこともあり、私たちの大きな強みにもなっています。ピッグレザーは、牛革と違って国内で生産できる唯一の皮革です。食肉から出る副産物として利用されていますが、万が一すべてが廃棄された場合、脂と水分が多くて燃えにくいという、埋め立ては土壌汚染にも繋がりがかねません。なので「自分たちの仕事は、社会のためにはならない」と思って取り組んでいます。先方からは「鳴き声以外は捨てることろがない」と言われるほど、余すところなく活用させていただいています。」と、四代目の泉正子さんは笑顔で話してくれました。

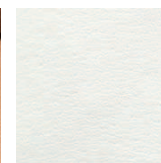
ピッグスキン取り扱い業者リスト

石居みさお皮革	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-21-13	03-3616-8264
(株)エセカ	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-19	03-3613-8851
小川化学(有)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-15	03-3611-4907
三恵産業(株)	130-0002	東京都 墨田区 業平 4-4-12-701	03-6820-6570
(有)T.M.Y's	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-14-21	03-5630-8189
(有)ティグレ	272-0813	千葉県 市川市 中山 1-7-15	090-1658-4860
墨田革漉工業(株)	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-43-4	03-3613-2131
(株)墨田キール	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-9-2	03-3617-8551
墨田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-18	03-3617-4411
(有)田丸製革所	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-6-5	03-3611-3062
長坂染革(株)	124-0006	東京都 葛飾区 堀切 1-34-8	03-3691-1161
栃木レザー(株)	328-0033	栃木県 栃木市 城内町 2-1-4	028-224-0666
(株)ニシノレザー	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-3	03-3616-4961
福島化学工業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-9-17	03-3616-0010
本田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-16-1	03-3611-0205
まる幸商会	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-22-7	03-3611-1352
山口産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-11-10	03-3617-3868
山巴皮革染色(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-9	03-3616-2355
トウキョウレザーファクトリー	135-0001	東京都 江東区 毛利 1-13-15	03-6821-1960

reccomend



オイルアニリン  
タンニンなめし革をオイルで仕上げ革らしさを表現



オルガノホワイト  
人と環境に配慮したエコ素材

福島化学工業株式会社

〒131-0042  
東京都墨田区東墨田3-9-17  
電話 : 03-3616-0010  
FAX : 03-3616-0013  
メール : char@fukushima-kagaku.co.jp  
HP : http://www.fukushima-kagaku.co.jp



代表取締役  
福島 不二子

代表取締役 福島 不二子



HP